

テーブルの上の生物多様性

ユニーの売り場に並んでいる食品は「生物多様性の恵み」です。生物多様性を身近なことに感じ、「私達は生き物の命をいただいて生きている」こと、自然環境やそこで生きる生き物を大切に守ったうえで生産された食べ物を選ぶことで、生物多様性に貢献することを伝えることが私達の務めです。

アトランティックサーモン

ノルウェーのきれいな海を守るために、養殖場から加工工場まで汚水を外に出さないシステムを構築、加工工場の汚水は魚油としてリサイクルしています。

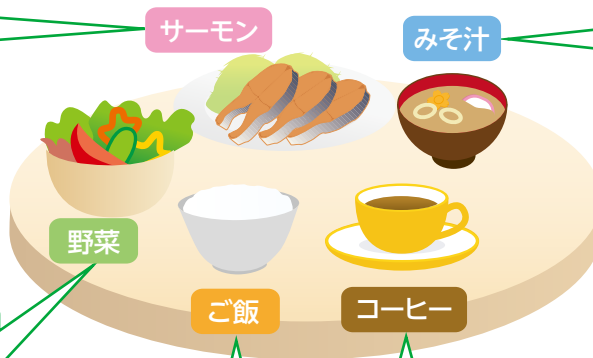


サーモン

みそ汁

愛知県の伝統発酵食品 (八丁味噌)

八丁味噌は、愛知県の伝統的な発酵食品で、大豆と塩を原料に木製の樽に仕込む、昔ながらの製法で生産されています。



野菜

ご飯

コーヒー

食品リサイクル～命をつなぐ環～

店舗から排出される食品残さ(野菜クズや魚アラなど)を原料にした堆肥を使うと、土壌を健康に豊かにする微生物やミミズが生きている畑や田んぼになります。こうした畑や田んぼで野菜や米が育てられています。

津市の生ごみ堆肥化処理場(三功)



2011年に食品リサイクル法
再生利用事業計画に認定されました
三功グループと進める
“食品リサイクル”

店舗



店舗から出る
食品残さを分別

生産



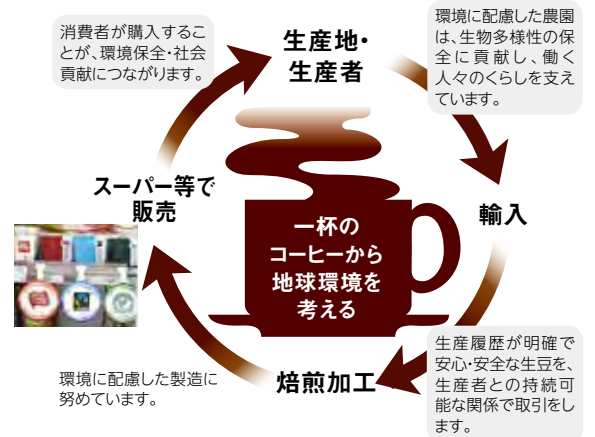
堆肥を使うことで土の中の
微生物の働きを活発にし
畑を豊かにします

商品



サステナブルコーヒー

熱帯雨林の下でシェイドグロウン農法有機栽培で生産したコーヒーは、ジャングルの植物や畑の生き物の環境を守って生産されています。



いろんな生き物と一緒に生きる

次世代を担う子ども達に、身近な生き物と触れ合うことで命を育む食べ物のことや、いろんな生き物と一緒に生きていることを体感する環境学習を行っています。

農業体験

食品リサイクルループによる循環型農業を行っている畑や田んぼで、農業体験を実施しました。食品残さの堆肥は発酵するときにガスや熱を出すことを臭いや熱さで体感したり、カエルの住む田んぼで田植えをしたりしました。



初めて田んぼに入る親子

養蜂場見学

お店の棚に並んでいるハチミツは、小さなミツバチが花から集めたものであること、それを私達はいただいていることを学びました。



ミツバチがいっぱいの巣には蜂蜜がいっぱい

森の探検

名古屋市の住宅街の中にある林や岐阜県白川郷の森の中で、いろんな植物や動物を見つけました。専門のインタプリターに森や生き物の話を聞きました。



森の中でいろいろな生き物を見つけました

お店で生き物と触れ合いました

子ども達がお買い物に訪れるアピタの店でエコ博を開催し、生き物の命に触れ、「みんな大切な命」について学びました。

名古屋港水族館

名古屋港水族館の「移動水族館」をアピタ店舗で開催しました。太平洋に住むアカウミガメの赤ちゃんや福井県や奈良県の子ども達が触れ合い、命の大切さを学びました。



海のカメの手足は泳ぎやすい形でした

日本モンキーセンター キッズズー

生き物と触れ合うことによって、子ども達が「いろんな生き物と生きている」ことを体感するイベントを、エコ博で開催しました。



大きなリクガメに触ってみました

愛知県三河湾再生プロジェクト

愛知県の三河湾再生プロジェクトの一環で、海の中の生き物と触れ合うことで、地元の海の魅力をもっと知ってもらうことを目的としています。



海の中の生き物に触ったら動いてびっくり